

# prierONE プロジェクトとは



## プロジェクト主催者・佐藤友祈選手より

東京でのパラリンピック開催によって、今では多くの人にパラスポーツを知っていただけたと思います。ただ、パラスポーツの実施環境は健常スポーツと大きく異なるのが現状です。

用具にかかる多額の費用、使用可能施設が少ないことやそこまでの移動手段など多くの問題があります。「障がい者にとってスポーツをすることは特別。」

パラスポーツが知られた今でも、パラスポーツは“チャレンジしたくてもできないもの”であることは、意外と世間には知られていないのではないかと思います。

僕も過去には自分ではどうしようもない壁にぶつかりました。

そんな時に前を向く力をくれたのが、あらゆる人によるサポートでした。声援はもちろん、資金面や移動手段、コーチングなど多くのサポートがあったから今の自分があります。

「僕が活動することで、少しでも多くの人々のチャレンジを支えたい。」

2012年に僕がパラリンピックから力をもらい、多くのサポートによってチャレンジし続けられたように、プロアスリートとなった自分だからこそできること、伝えられることがあると思って、prierONE プロジェクトを立ち上げることとなりました。

「あらゆる人が、チャレンジできる社会にしたい。」これが、このプロジェクトが目指すものです。ただ、僕の頑張りだけでは実現は難しいです。

このプロジェクトが“ひとり”のチャレンジを応援し、チャレンジする姿が次の“ひとり”の力となる。ひとりひとりの想いやサポートが循環して、やがて社会を動かしていく。そうなることを祈っています。社会を変えるには、あまりにも小さい活動かもしれませんが、応援していただければ嬉しいです。

## <prierONE プロジェクト 概要>

実行体制 主催：佐藤友祈 / 協力：株式会社モリサワ（プロジェクト事務局）

活動目的 ひとりひとりの想いとサポートを循環させ、あらゆる人がチャレンジできる社会の構築を目指します。

活動内容 パラ陸上競技を中心とした個人に対するサポートと、社会インフラなどパラスポーツに関わる環境改善のサポートを実施。

個人へのサポート：年1～2台のレーサー（陸上競技用車いす）を個人に寄贈

環境改善のサポート：競技関連施設、障がい者支援団体などへの物品、資金の提供